

2019年度（令和元年度） 直鞍次世代産業研究会総会

（議案）

- ・第1号議案：2018年度事業報告
- ・第2号議案：2018年度決算報告
- ・第3号議案：役員改選
- ・第4号議案：運営規程の改正（第7条会計の改正）報告
- ・第5号議案：2019年度事業計画（案）
- ・第6号議案：2019年度予算（案）

(1)月例役員会及び例会の開催

○各月第1木曜日に役員会を開催した。

－役員会議事の概要をホームページに掲載し情報発信した。

○各月第3火曜日を例会予定日とし、市場研究、事業化、人材育成の各事業項目に沿ったセミナー、視察会等を開催した。例会の概要をホームページに掲載し情報発信した。

開催期日	テ　ー　マ	概　　要
4月17日	平成30年度総会	N-bizの活動振り返り、利用内容紹介等の講演
5月17日	次世代事業化関連	社会保険労務士 江口勝彦氏による働き方改革関連のセミナー
6月7日	次世代人材育成関連	夢プロジェクトテーマの議論
7月17日	次世代市場研究関連	県の先端研究開発支援施設（有機EL、3次元半導体）の視察
8月4日	市産業振興ビジョン支援	わくわく'18に参加、米粉パスタ製作
9月18日	次世代人材育成関連	夢プロジェクト作品審査会
10月22日	次世代事業化関連	合同セミナー開催（トヨタ九州副社長、KOTRA福岡所長講演）
11月13日	次世代人材育成関連	人材育成コンサルタント財津ユカ氏によるアンガーマネジメント講座
1月23日	合同新年会	新年交流イベント
2月13日 2月19日	次世代事業化関連	・ものづくり補助金説明会の開催 ・合同企業見学会（九州小島、ウチダ）
3月20日	次世代市場研究	AUTHENTIC JAPAN久我一総氏による無線技術ベンチャーセミナー

(2)平成30年度総会の開催

＜総会＞

開催日：4月17日 場所：エクセレントガーデン迎賓館

講演

演題：N-bizの役割とその活用法～開設から1周年を迎えて～
講師：岡田 高幸 氏（直鞍ビジネス支援センター長）



(3) 主な視察、セミナーの実施概要

- ① 福岡県が新産業育成のため推進する有機EL,三次元半導体実装技術の実用化開発支援センター（福岡市西区、糸島市）を視察し、これら技術の今後の動向を学ぶとともに連携方法の意見交換を行った。（7月17日）



- ② 自動車産業を支える重要部品の生産工場（宮若市の九州小島株式会社、株式会社ウチダ）を視察し、新鋭工場の稼働技術、独自得意技術を産出す力などを視察した（2月19日）



(3) 主な視察、セミナーの実施概要－2

③ 次世代の市場研究、事業化、人材育成をテーマに、主に企業運営・事業発展に資するセミナー等を5回開催した。また、幅広い活動普及を図るため、関連ある内容については広く一般参加も呼び掛けるとともに、自動車産業研究会等とも連携開催を行った。



(4) 夢プロジェクト事業(次世代の人材育成)

(目的)

直鞍地域の小・中学生が、ものづくりに親しんだり、関心を持つような気持を醸成するため、「このようなものがあつたらしいな～、普段の生活が便利になるな～」といったアイデアを募集し、優秀者を表彰することで、「ものづくりのまち直鞍」のイメージアップを図る。

(募集テーマ)

「みんなはまちの発明家」～みんなのまわりで困っている人や不便なことを解決できるアイデアを募集

(募集期間)

平成30年度年7月上旬～平成30年9月7日

(応募状況)

小学生94件、中学生39件の合計133件のアイデア応募があった

(授賞)

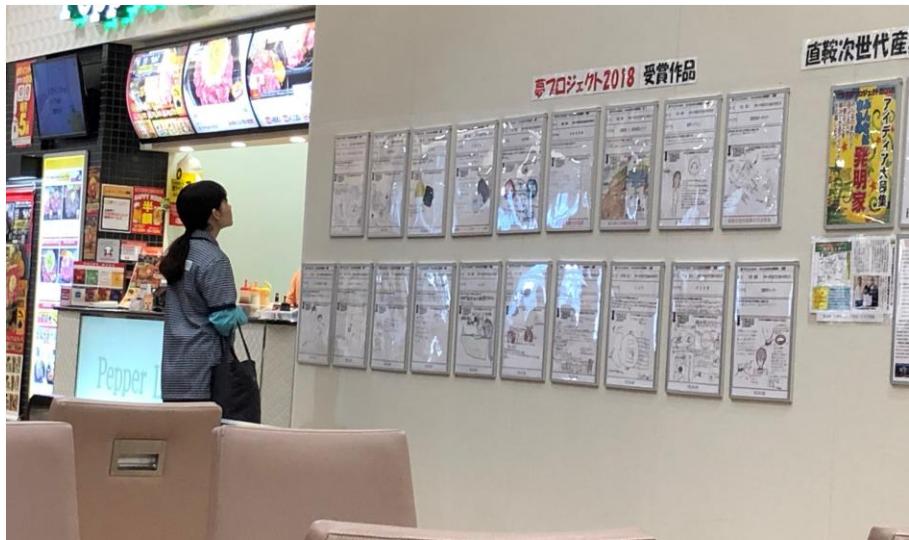
名 前	学校名	学年	アイデア名	備 考
村上 優斗	植木中学校	3	災害時用キーホルダー	次世代産業研究会会長賞
月成 彩寧	植木中学校	3	盲導ヘッドフォン	直方市長賞
佐藤 混輔	直方北小学校	5	自動かんし & 自動災害防止バリア	直方商工会議所会頭賞
松雪 蒼依	宮田北小学校	6	全身洗浄室	宮若商工会議所会頭賞
森 円凜	小竹南小学校	4	心の信号機	直鞍産業振興センター長賞
寒竹 美孔	植木中学校	2	川管理施設	直鞍ビジネス支援センター長賞

奨励賞：14作品

(4) 夢プロジェクト事業表彰式(次世代の人材育成)



(4) 夢プロジェクト事業の広報(次世代の人材育成)



(5) 産業振興ビジョン等支援事業

【のおがた“働く” ウィークへの参加・支援】

(1) “働く” ウィーク実行委員会へ委員として参画

(2) “働く” ウィークへの参加

- ① 米粉パスタ「シシデミパスタ」の制作と提供
・期日：平成30年8月4日（土）



- ② 会員企業「イシダファーム」によるソフトクリーム販売

- ③ 夢プロジェクト事業の紹介、PR



【直鞍ビジネス支援センター(N-biz)との連携】

- ・ 総会においてN-biz活動条項の報告講演を開催
- ・ 研究会主催関連セミナーへの岡田センター長の参加
- ・ 夢プロジェクト表彰に直鞍ビジネス支援センター長賞を新設



(6) 総括

- 平成30年度は名称を「直鞍次世代産業研究会」に改めて2年度目の事業年度であった。積極的に事業の趣旨に沿った各種セミナーや視察会を行った年度となった。
- しかし、景気の状況や各会員の多忙とも重なり各セミナーとも参加率が高かったとは言えない。また、海外視察の計画も練ったが、魅力的な視察先が提示できずに十分な参加人数が集まらず実施できなかった。
- 夢プロジェクト事業は定着しつつあり、直方市外の学校からの応募は少なかったものの、昨年に比べてもアイデアの質が向上した。受賞アイデアの中には実用化にトライできるアイデアも散見される。
 - ・次年度もテーマを考慮しながら積極的に取り組んでいく必要がある。
- 情報発信については、特にホームページの内容を見直し、毎回の役員会、定例会の概要を掲載するようにした。今後も情報発信コミュニケーションのツールとして充実させる必要がある。<https://adox.jp/business/fiw>
- 視察助成に関しては助成金を増額改正して臨んだにもかかわらず利用者がなかった。今後PR、活用方法の見直しも検討する必要がある。

第2号議案

2018度直鞍次世代産業研究会一般会計決算

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C - B)	
入会金	0	10,000	10,000	1社入会
正会員会費	1,608,000	1,604,000	△ 4,000	33社（34名）（うち新規入会5月から1社）
賛助会員会費	100,000	90,000	△ 10,000	10社（うち会費未納会員1社）
雑収入	13	11	△ 2	預金利息
前年度繰入金	1,036,101	1,036,101	0	
合 計	2,744,114	2,740,112	△ 4,002	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C - B)	
総務	700,000	491,368	△ 208,632	総会経費、新年会・情報交換会経費、コピー機・研修室等使用料、郵送費、その他
次世代市場研究費	400,000	60,340	△ 339,660	講演会、視察等
次世代事業化事業費	300,000	206,102	△ 93,898	合同セミナー、企業見学会等
次世代組織人材事業費	400,000	249,592	△ 150,408	夢プロジェクト、“働く”wiーク関連
研究会情報提供事業費	150,000	122,281	△ 27,719	ホームページ維持・更新、商工会議所ニュース掲載料
産業振興費	100,000	23,679	△ 76,321	
視察研修助成金	0	0	0	
記念事業費	0	10,000	10,000	入会金を基金に繰入れ
予備費	694,114	0	△ 694,114	
合 計	2,744,114	1,163,362	△ 1,580,752	
収支差額	0	1,576,750	1,576,750	

第2号議案 2018年度 決算
2018年度直鞍次世代産業研究会特別会計決算

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金)	2,296,771	2,296,771	0	
記念事業費(当年度積立金)	0	10,000	10,000	入会金の繰入れ
預金利息	443	370	△73	
合 計	2,297,214	2,307,141	9,927	

2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費(前年度積立金)	935,696	935,696	0	
観察研修助成費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	150	135	△15	
合 計	935,846	935,831	△15	

2018年度監査報告

監査報告書

直鞍次世代産業研究会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度に関し、事業の実施及び会計の状況について監査を実施したので下記のとおり報告する。

記

1. 監査日時

平成31年4月24日

2. 監査場所

直鞍産業振興センター ADOX 福岡別館内

3. 監査結果

事務局から事業実施の状況及び収支計算書、領収書、預金通帳などに基づく会計処理の状況について報告、説明を受け監査を行った。

その結果、いずれについても適正に執行、処理されていた。

平成31年4月24日

監査役

杷野 茂一



監査役

印

以上

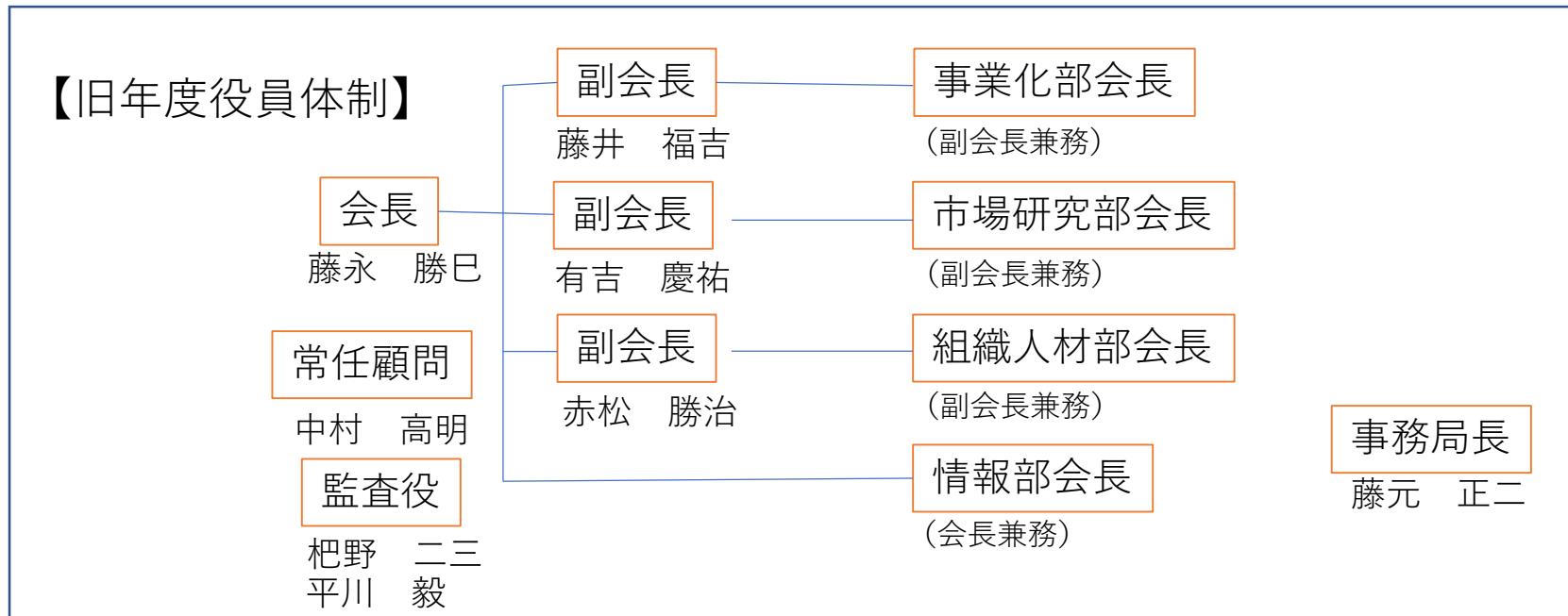
13

第3号議案 役員改選

運営規程

第4条 (役員選任等)

- 会長、副会長、部会長、監査役及び常任顧問は会員の中から総会において選出する。
- 2 会長、副会長、部会長、監査役及び常任顧問の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。
- 3 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の在任期間とする。
- 4 名誉顧問、顧問及びアドバイザーは必要に応じて会長が選任し、総会にて報告する。



第3号議案 役員改選

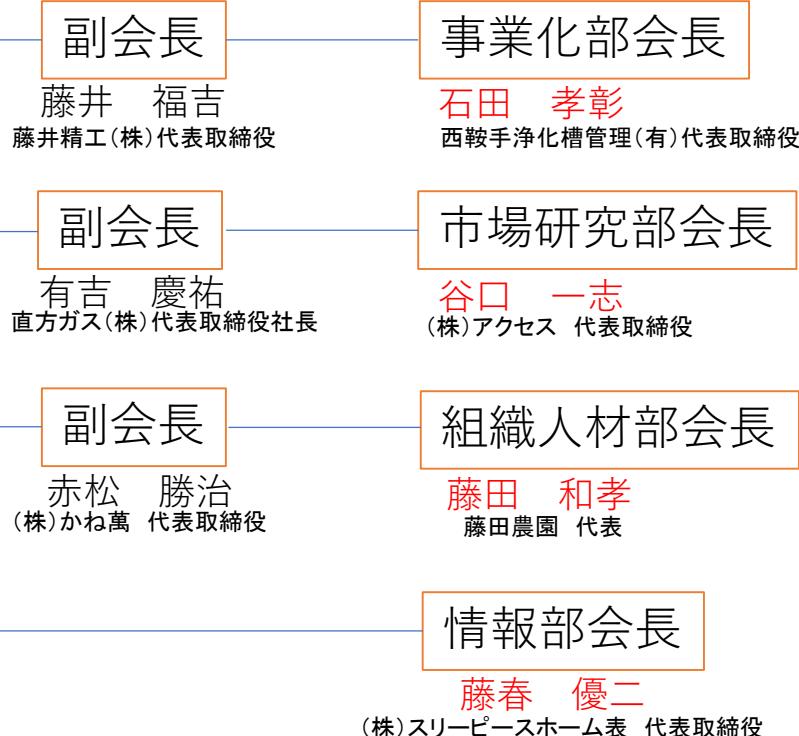
【新年度役員体制案】

会長
藤永 勝巳
直方精機(株)代表取締役社長

常任顧問
中村 高明
(株)紀之国屋 会長

監査役
杷野 英一
(株)直方建材 専務取締役

西村 栄一
(株)福岡銀行 直方支店長



第4号議案 運営規程の一部(第7条の会計)改正(案)

(改正理由) 会員増強に資するため、会費の金額を見直すもの

項目	改 正 後	改 正 前
第7条 (会計)	(変更なし)	本会の運営は、会費、寄付金、補助金、賛助金その他の収入をもって充てる。但し、事前了承のもと、必要により実費を徴収することがある。
第2項	正会員からは、入会金として1万円、 <u>会費として月2千円(年間2万4千円)</u> を徴収する。入会金は基金とし、周年事業等の費用に充てる。なお、同一企業の複数参加については、2名以上分の入会金及び会費は半額とする。	正会員からは、入会金として1万円、 <u>会費として月4千円(年間4万8千円)</u> を徴収する。入会金は基金とし、周年事業等の費用に充てる。なお、同一企業の複数参加については、2名以上分の入会金及び会費は半額とする。
第3項	(変更なし)	協働会員及び事務局員からの会費は徴収しない。
第4項	(変更なし)	正会員が年度の途中で入会する場合は、月割りで会費を徴収する。
第5項	賛助会員は <u>年会費として5千円</u> を徴収する。年度の途中で入会する場合も同額とする。	賛助会員は <u>年会費として1万円</u> を徴収する。年度の途中で入会する場合も同額とする。
第6項	(変更なし)	会員が年度の途中で退会した場合は、会費は返還しない。

第5号議案

2019年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、企業の実利的な調査・研究を行う。シーズやニーズの発掘による次世代産業・新事業・新サービスの創出を目指す。また、人材育成事業や次世代の組織・企業のあり方も研究し、参加企業の発展と地域振興を目的としている。また、いち早く新事業やニーズへの情報提供、本会への活動の発信を持って地域外企業・団体・自治体とのマッチングも進めていく。次世代に向けての企業活動が迅速・かつ円滑に進められるよう自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

- (1) 次世代市場研究事業
 - ・新技術、新サービス等に関する先進事例視察研究、セミナー等の開催
- (2) 次世代事業化事業
 - ・事業化に資する技術、企業等の視察、交流、セミナー等の開催
- (3) 次世代組織人材事業
 - ・企業運営の高度化に関する勉強会、次世代の人材育成に資する取組み（「夢プロジェクト」等）の実施
- (4) 研究会情報事業
 - ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信
- (5) 産業振興ビジョン等支援事業
 - ・のおがた「はたらくウィーク」への支援
- (6) 視察研修助成金事業

次世代キッズプログラミング教室 参加者募集!!

～みんなはまちのプログラマー～



直鞍次世代産業研究会では地域貢献活動の一環として、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取組みを行っています。これまで実施してきたものづくりアイディア募集の「夢プロジェクト」の他に、新たに、これから子供たちに必要とされるITの力を養うための支援事業を行います。この取組を通じて、コンピュータがどのように働いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

※写真のmicro:BITを使って初步的なプログラムから体験していきます。

※教えるサポートとして鞍手高校のSSH部の学生さんにも協力してもらいます。

※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直鞍地域の小学校4・5・6年生とその保護者

【募集期間】2019年6月7日（金）締切り

【募集条件】・保護者が送り迎えできること。

・インターネットができるパソコン（Windows、Mac）又は
iPad等のタブレット或いはスマートフォンを持参できること。

【募集定員】20組（応募多数の場合は抽選になります）

【実施期日】（期日は変更になる可能性もあります。）

第1回目：6月22日（土）10:00～12:00

第2回目：7月20日（土）10:00～12:00

第3回目：8月25日（日）10:00～12:00「おがたわくわーく内

【実施会場】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）

直方市植木849-1 ホームページ：<https://adox.jp>

【参加費用】1,000円/一組（micro:BITを1台支給します）

【お問合せ先】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：藤元）

TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700
E-mail:ts2@adox-fukuoka.jp HP: <https://adox.jp>

【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailにて

主催 直鞍次世代産業研究会

共催 直鞍産業振興センター、直方市

後援：直方市・宮若市・鞍手町・小竹町各教育委員会

第6号議案

2019年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	昨年度予算 (A)	昨年度決算額	当年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
入会金	0	10,000	0	0	
正会員会費	1,608,000	1,604,000	804,000	△ 804,000	33社（34名）
賛助会員会費	100,000	90,000	50,000	△ 50,000	10社
雑収入	13	11	11		△ 2預金利息
研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
前年度繰入金	1,036,101	1,036,101	1,576,750	540,649	昨年度繰越金増
合 計	2,744,114	2,740,112	2,430,761	△ 313,353	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	昨年度予算 (A)	昨年度決算額	当年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
総務	700,000	491,368	460,000	△ 240,000	
次世代市場研究費	400,000	60,340	150,000	△ 250,000	
次世代事業化事業費	300,000	206,102	250,000	△ 50,000	会費減に対応するととも
次世代組織人材事業費	400,000	249,592	450,000	50,000	に、決算に従い予算内容
研究会情報提供事業費	150,000	122,281	136,000	△ 14,000	を大幅に見直して予算案
産業振興費	100,000	23,679	50,000	△ 50,000	を作成
視察研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	10,000	0	0	
予備費	694,114	0	934,761	240,647	次年度繰越予定
合 計	2,744,114	1,163,362	2,430,761	△ 313,353	
収支差額	0	1,576,750	0	0	

2019年度特別会計予算(案)

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	昨年度決算額 (A)	当年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金残高)	2,296,771	2,307,141		
記念事業費(当年度積立金)	10,000	0		
預金利息	370	370		
合 計	2,307,141	2,307,511		

2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	昨年度決算額 (A)	当年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費(前年度積立金)	935,696	935,831		
観察研修助成費(当年度積金)	0	0		
預金利息	135	135		
合 計	935,831	935,966		